

47期生 進路便り

入学準備号 2020. 4. 10.

進路便りでは、皆さんの高校卒業後の進路実現に役立つ情報についてお伝えします。

ピンチはチャンス

入学おめでとうございます！吹田東高校に入学して、「さあ、これから」というときにコロナウィルスによる休校…。がっかりしている人も多いと思います。とはいえ、なってしまったものは仕方ありません。ピンチはチャンスです。切り替えて、休校明けに備えましょう。

休校期間中はあまり外に出ることもないでしょう。ダラダラと過ごすのではなく、以下のことを意識して過ごしてください。

1. 家で学習する習慣をつける

高校と中学との最も大きな違いは**勉強すべき量が格段に増え、内容も難しくなること**。体感としては高校での勉強量は中学での勉強量の5～10倍ほどになります。しかも高校では、**1年生の1学期からの成績が卒業後の進路決定の可否に関係**してきます。1年生だからといって、勉強をおろそかにしていると痛い目を見ます。

当然ですが、家で勉強をしないといけないわけです。進路実現のために必要な学習時間は、**1年生で1日2時間以上**です。休校期間中、机に向かって勉強する習慣をつけましょう。各教科から課題が出ていますので、毎日コツコツとやっていってください。



☆勉強は量か？質か？☆

勉強は量（時間）を重視すべきか、質を重視すべきか？永遠のテーマですね。みなさんは、**勉強の「質」を意識して勉強を進めていってください**。

なぜ勉強の質を意識しなくてはいけないのか。例えば「**3時間勉強しました**」と言っている人がいるとしましょう。でもその人は、**3時間ダラダラしながら勉強をしたために、問題集1ページしか進まなかった**としましょう。果たして、**この人はたくさん勉強したといえるでしょうか？**

もちろん、たくさんの勉強の分量をこなすためには、それなりに時間をかけることも必要です。勉強すると決めた時間は、**だらだら勉強せず、集中して勉強を進めていってください**。

「家庭学習の記録」のプリントを配布しています。
上手に活用して、休校期間中たくさん勉強してくださいね！

2. 将来の進路について考える

休校期間中は、時間がたくさんあります。せっかくなので、**自分の将来の進路について考えてみる**のはどうでしょうか。

例えば、看護師になりたいなあ、と考えている人がいるとしましょう。その場合、看護師になるためにはどの大学・専門学校に行けばよいかを調べます。世の中には色々な看護系の大学や専門学校があります。看護師に限らず、自分が希望する職業に就くには高校卒業後にどのような進路に進めばいいか、インターネットなどを通じて調べましょう。

目指したい進路が決まると、勉強へのモチベーションも上がります。休校期間中の時間のある時に、「自分は将来どんな仕事に就きたいんだろう…？」などと考えてみましょう。

もちろん、高校時代希望していた進路とは違う道を歩むことはありえます。ですから、今は具体的な「進路」をイメージすることができなくても構いません。大切なのは、「**将来の自分がどうやって生きていくか、とりあえず考えてみる**こと」です。考えることで、色々調べてみよう、となります。



☆やりたいことが見つからない人へ☆

「将来の進路を考えたって、やりたいことがわからない」という人もいます。そういう人は、「**自分が好きなことって何だろうか」「自分がこだわっていることって何だろうか」「自分ってどういう人間だろうか**」という視点から考えてみましょう。

例えば、「石とか鉱物が好き」という人は、地学系の道に進めばよいわけです。「人の命を救うことにこだわりたい」のであれば、消防士、医師、看護師などの職業が考えられます。「自分は小さい子どもの面倒見がいいほうだ」と思うならば、保育士や教師といった職業も考えられるでしょう。世の中にはみなさんが知っている以上にたくさんの職業があります。きっと自分にあった職業があるはずですよ。

上でも述べましたが、大事なことは、**具体的な進路をイメージすることではなく、進路について考えてみようという姿勢**です。

★興味がある仕事がわからない人は

進路を狭めないように特に「**英語、数学、国語**」を中心に勉強しておきましょう。

3. 高校生活で勉強以外にやりたいことをイメージする

クラブ活動、生徒会、ボランティア…。高校では授業以外にも様々な活動があります。そして、好きなことを好きなだけ出来るのはおそらく高校時代が最後になるでしょう。**今しかできないことを大切にしたいです。**「3年間やりきった！」と胸を張って言えることがあれば、それはあなたに「自信」を与えてくれるに違いありません。よければ勉強の合間にも、「こんな高校生活を送りたいなあ」とイメージしてみてください。

